

【日 時】 平成26年 3月18日

【訪問先】 釜利谷西小学校(西金沢中学校)小中一貫校 阿部亮一校長・三浦康子准校長

【概 要】

【視察報告】

1、校長先生のモットー・教育目標

モットー「意志あるところに道あり」(阿部校長)、
「優しい心、感謝の心を育む」(三浦准校長)

2、英語・国際教育の取り組み

毎年オーストラリアのメイフィールド校の生徒を呼び、体験授業や文化紹介を行うなどの交流をしている。6年生は中学の教員が来て英語の音声授業を行っている。「コミュニケーションクラス」で英語を積極的に話す機会を与える授業を行っている。



3、地域のボランティアの取り組み

見守り隊。地域の方が毎週火曜全てのクラスで読み聞かせ、クラブボランティアを行っている。月に1回保護者が自主的に「小さな音楽会」を開いている。国際交流ラウンジの方が通訳ボランティアをしている。保護者と地域がフィットし、地域コーディネーターが必要ないほどに地域が協力的。

4、地域との防災の取り組み

防災拠点訓練を実施。小中一貫校の特徴を活かし連携した防災訓練を行っている。

5、道徳教育や郷土愛の取り組み

朝のあいさつ運動を徹底して行っている。特に中学生はその成果が出ている。

6、授業での力を入れた取り組み

図工、音楽、英語の授業で教科担任制を用いている。一貫校として5, 6年生と中学一年生をどのようにつなげていくかが課題。

7、体力強化やクラブ活動の取り組み

学校付近の緑道を利用してマラソン大会を開いている。そのために、「マラソンタイム」を作り休み時間に走る時間をつくっている。また、長縄跳びも継続して行っている。

中学では9割の生徒が部活に所属している。国の文化について学ぶ「インターナショナルクラブ」というクラブがある。

【所 感】

早くから英語教育に力を入れ、特にオーストラリアの学校との交流は学校の特徴的な行事となり、英語・国際教育の面に限らず、生徒の成長へとつながる素晴らしい活動であると感じた。

そして、地域や保護者の手厚い協力が活動の多さから感じられ、学校と地域がとても密着した関係にあり、教育に活かされていると感じた。特に地域が主導しての徹底した読み聞かせの取り組みには驚かされた。

